

平成28年5月18日

株式会社クレオソリューション
代表取締役社長 柿崎 淳一

決 算 公 告

第5期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)
貸借対照表・損益計算書および個別注記表

貸借対照表……………2P
損益計算書……………3P
個別注記表……………4P

貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

科目		科目	
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
流動資産	1,298	流動負債	1,048
現金及び預金	380	買掛金	154
売掛金	735	短期借入金	470
商品	16	未払金	131
仕掛品	89	未払法人税等	19
貯蔵品	0	未払事業所税	4
未収入金	1	未払消費税等	64
未収収益	1	未払費用	41
前払費用	43	前受金	20
立替金	0	預り金	7
短期貸付金	30	賞与引当金	134
固定資産	225	固定負債	28
有形固定資産	68	長期未払金	2
建物	52	繰延税金負債	4
工具器具備品	16	資産除去債務	21
無形固定資産	35	負債合計	1,077
ソフトウェア	35	(純資産の部)	
投資その他の資産	121	株主資本	447
投資有価証券	0	資本金	100
子会社株式	10	利益剰余金	347
差入保証金	110	その他利益剰余金	16
長期前払費用	0	繰越利益剰余金	330
		評価・換算差額等	0
		その他有価証券評価差額金	0
		純資産合計	447
資産合計	1,524	負債・純資産合計	1,524

損益計算書

〔 平成27年4月1日から
平成28年3月31日まで 〕

科目	金額	
	百万円	百万円
売上高		3,741
売上原価		3,068
売上総利益		672
販売費及び一般管理費		455
営業利益		217
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	
その他	13	14
営業外費用		
支払利息	7	7
経常利益		225
税引前当期純利益		225
法人税及び住民税	82	
法人税等調整額	△0	81
当期純利益		143

個別注記表

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品……主として総平均法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

仕掛品……個別法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

(2) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産(リース資産を除く)

定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については定額法)を使用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び構築物 3～18年

工具、器具及び備品 4～20年

無形固定資産(リース資産を除く)

ソフトウェア

ソフトウェアパッケージ開発原価

見積販売数量を基準として販売数量に応じた割合に基づく償却額と、販売可能期間(3年)に基づく償却額のいずれか多い金額をもって償却しております。

自社利用ソフトウェア

自社利用ソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金

従業員に対する賞与の支払に備えるため、支給見込額を計上しております。

(4) その他

消費税等の会計処理

2. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

58 百万円